

00862.022245



PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of:

RIKIO SHIBA ET AL.

Application No.: 09/975,968

Filed: October 15, 2001

For: COLLECTING METHOD BY
INFORMATION PROCESSOR,
AND ORDERING METHOD OR
SALE METHOD

Examiner: Not Yet Assigned

Group Art Unit: 2852

October 28, 2002

Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

RECEIVED
OCT 30 2002
TD-2800 MAIL ROOM

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENTS

Sir:

In support of Applicants' claim for priority under 35 U.S.C. § 119, enclosed
are certified copies of the following Japanese applications:

2000-035938, filed February 14, 2000

2000-035937, filed February 14, 2000

Applicants' undersigned attorney may be reached in our New York office by

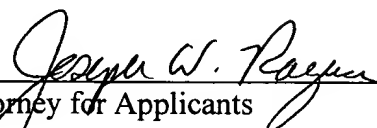
RECEIVED
NOV 04 2002
GROUP 3600

2852

Adriana Lewis
#7
Lyman
11.9.02

telephone at (212) 218-2100. All correspondence should continue to be directed to our address given below.

Respectfully submitted,



Attorney for Applicants

Registration No 38,586

FITZPATRICK, CELLA, HARPER & SCINTO
30 Rockefeller Plaza
New York, New York 10112-3801
Facsimile: (212) 218-2200

NY_MAIN 301979 v 1

09/975-968



日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日

Date of Application:

2000年 2月14日

出願番号

Application Number:

特願2000-035938

出願人

Applicant(s):

キヤノン株式会社

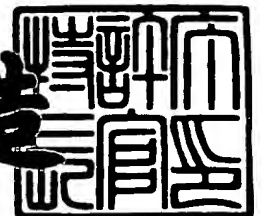
RECEIVED
OCT 30 2002
16-2800 MAIL ROOM

RECEIVED
NOV 04 2002
GROUP 3600

2001年 3月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3016531

【書類名】 特許願

【整理番号】 4172030

【提出日】 平成12年 2月14日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 9/00

【発明の名称】 ビジネス消耗品の注文方法および販売方法、その販売システムおよびプログラム、並びに、媒体

【請求項の数】 25

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

 【氏名】 柴 力夫

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

 【氏名】 清水 由紀彦

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

 【氏名】 永塚 貴幸

【特許出願人】

 【識別番号】 000001007

 【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100076428

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 大塚 康德

 【電話番号】 03-5276-3241

【選任した代理人】

【識別番号】 100101306

【弁理士】

【氏名又は名称】 丸山 幸雄

【電話番号】 03-5276-3241

【選任した代理人】

【識別番号】 100115071

【弁理士】

【氏名又は名称】 大塚 康弘

【電話番号】 03-5276-3241

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 003458

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0001010

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ビジネス消耗品の注文方法および販売方法、その販売システムおよびプログラム、並びに、媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 所定のサーバにログインし、前記サーバから供給される注文画面に従い所望するビジネス消耗品を注文する注文方法であって、

前記注文画面には、注文者の利用機器に対応するビジネス消耗品のリストが含まれることを特徴とする注文方法。

【請求項 2】 前記注文画面には、さらに、リストされたビジネス消耗品および前記注文者に対応した価格情報が含まれることを特徴とする請求項 1 に記載された注文方法。

【請求項 3】 前記注文画面は、少なくとも、注文者およびその利用機器、機器に対応するビジネス消耗品、並びに、前記ビジネス消耗品および前記注文者に対応した価格情報が記録されたデータベースに基づき生成されることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載された注文方法。

【請求項 4】 前記注文者は、インターネットを介して前記サーバにアクセスすることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れかに記載された注文方法。

【請求項 5】 前記ビジネス消耗品はトナーまたはインクであることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 の何れかに記載された注文方法。

【請求項 6】 ログインしたユーザに注文画面を供給し、前記注文画面に従い所望するビジネス消耗品を注文させる販売方法であって、

前記注文画面には、前記ユーザの利用機器に対応するビジネス消耗品のリストが含まれることを特徴とする販売方法。

【請求項 7】 前記注文画面には、さらに、リストされたビジネス消耗品および前記ユーザに対応した価格情報が含まれることを特徴とする請求項 6 に記載された販売方法。

【請求項 8】 前記注文画面は、少なくとも、ユーザおよびその利用機器、機器に対応するビジネス消耗品、並びに、前記ビジネス消耗品および前記ユーザに対応した価格情報が記録されたデータベースに基づき生成されることを特徴とする

請求項6または請求項7に記載された販売方法。

【請求項 9】 前記ログイン、前記注文画面の供給および前記注文はインターネットを介して行われることを特徴とする請求項6から請求項8の何れかに記載された販売方法。

【請求項 1 0】 前記ビジネス消耗品はトナーまたはインクであることを特徴とする請求項6から請求項9の何れかに記載された流通方法。

【請求項 1 1】 ビジネス消耗品を注文しようとするユーザをログインさせるログイン手段、ログインしたユーザに注文画面を供給する供給手段、および、前記注文画面に基づく注文情報を受け付ける受付手段を有する販売システムであって、

前記供給手段は、ユーザの利用機器に対応するビジネス消耗品のリストを含む注文画面を前記ユーザに供給することを特徴とする販売システム。

【請求項 1 2】 前記供給手段は、さらに、リストされたビジネス消耗品および前記ユーザに対応した価格情報を含む注文画面を前記ユーザに供給することを特徴とする請求項11に記載された販売システム。

【請求項 1 3】 前記供給手段は、少なくとも、ユーザおよびその利用機器、機器に対応するビジネス消耗品、並びに、前記ビジネス消耗品および前記ユーザに対応する価格情報が記録されたデータベースに基づき、前記注文画面を生成することを特徴とする請求項11または請求項12に記載された販売システム。

【請求項 1 4】 前記ユーザは、インターネットを介して前記販売システムにアクセスすることを特徴とする請求項11から請求項13の何れかに記載された販売システム。

【請求項 1 5】 前記ビジネス消耗品はトナーまたはインクであることを特徴とする請求項11から請求項14の何れかに記載された販売システム。

【請求項 1 6】 ビジネス消耗品を注文しようとするユーザをログインさせ、ログインしたユーザに注文画面を供給し、前記注文画面に基づく注文情報を受け付ける販売システムを実現するプログラムであって、

ユーザの利用機器に対応するビジネス消耗品のリストを含む注文画面を前記ユーザに供給するステップを有することを特徴とするプログラム。

【請求項 1 7】 さらに、リストされたビジネス消耗品および前記ユーザに対応した価格情報を含む注文画面を前記ユーザに供給するステップを有することを特徴とする請求項16に記載されたプログラム。

【請求項 1 8】 少なくとも、ユーザおよびその利用機器、機器に対応するビジネス消耗品、並びに、前記ビジネス消耗品および前記ユーザに対応する価格情報が記録されたデータベースに基づき、前記注文画面を生成するステップを有することを特徴とする請求項16または請求項17に記載されたプログラム。

【請求項 1 9】 前記ユーザと前記販売システムとをインターネットによって結ぶステップを有することを特徴とする請求項16から請求項18の何れかに記載されたプログラム。

【請求項 2 0】 前記ビジネス消耗品はトナーまたはインクであることを特徴とする請求項16から請求項19の何れかに記載されたプログラム。

【請求項 2 1】 ビジネス消耗品を注文しようとするユーザをログインさせ、ログインしたユーザに注文画面を供給し、前記注文画面に基づく注文情報を受け付ける販売システムのプログラムコードを有する媒体であって、前記プログラムコードは少なくとも、

ユーザの利用機器に対応するビジネス消耗品のリストを含む注文画面を前記ユーザに供給するステップのコードを有することを特徴とする媒体。

【請求項 2 2】 さらに、リストされたビジネス消耗品および前記ユーザに対応した価格情報を含む注文画面を前記ユーザに供給するステップのコードを有することを特徴とする請求項21に記載された媒体。

【請求項 2 3】 前記ビジネス消耗品はトナーまたはインクであることを特徴とする請求項21または請求項22に記載された媒体。

【請求項 2 4】 ビジネス消耗品を注文しようとするユーザをログインさせ、ログインしたユーザに注文画面を供給し、前記注文画面に基づく注文情報を受け付ける販売システム用のデータを有する媒体であって、

前記注文画面の生成用として、少なくとも、ユーザおよびその利用機器、機器に対応するビジネス消耗品、並びに、前記ビジネス消耗品および前記ユーザに対応する価格情報を有することを特徴とする媒体。

【請求項 2 5】 前記ビジネス消耗品はトナーまたはインクであることを特徴とする請求項 24 に記載された媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明はビジネス消耗品の注文方法および販売方法、その販売システムおよびプログラム、並びに、媒体に関し、例えば、トナーカートリッジなどのビジネス消耗品を効率的かつ効果的に注文、販売する注文方法および販売方法、並びに、その販売システムに関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

電子写真方式を利用したプリンタ、複写機およびファクシミリ装置は、ビジネスを遂行する上で必須の機器である。これら電子写真方式を利用する機器は、トナーなどの消耗品を必要とする。もし、それらの消耗品が切れ、直ちに消耗品の補充ができなければ、それらの機器は利用不能になる。このような状況を防ぐために、各オフィスでは、消耗品の適正在庫を維持管理している。最近では、事業所全体で消耗品の適正在庫を維持管理するIMS(Information Manager of System)などと呼ばれる部署が存在する場合もある。

【0 0 0 3】

電子写真方式を利用する機器には、トナーカートリッジと呼ばれるカートリッジによってトナーが供給されるものがある。各機器には、その機種に応じたトナーカートリッジを装着する必要がある。同じプリンタでも機種が異なれば、大概は、異なるトナーカートリッジが必要になる。従って、多種類の機器を利用するオフィスや事業所では、多種類のトナーカートリッジを在庫し維持管理する必要がある。なお、トナーカートリッジに限らず、オフィスや事業所で消費されるすべてのビジネス用品は適正在庫の維持管理が要求される。以下では、トナーカートリッジのような物品を「ビジネス消耗品」と呼ぶ場合がある。「ビジネス消耗品」には、トナーカートリッジのほか、複写機用のトナー、感光ドラム、インクジェットプリンタ用のインク、その他サービスパーツ、紙やOHPシートなどを挙

げることができる。

【 0 0 0 4 】

また、トナーカートリッジ自体はリサイクル可能な材料で形成されている。さらに、トナーカートリッジには、トナーが収容されているだけでなく、感光ドラム上の静電潜像にトナーを供給する機構が備わっていたり、感光ドラム自体が収容されている場合もある。従って、それらの材料や部品をリサイクルするために、使用済みのトナーカートリッジは効率よく回収されるのが望ましい。

【 0 0 0 5 】

このような特性をもつビジネス消耗品の販売形態、在庫管理およびリサイクルに関して、次に示すような要望がある。

【 0 0 0 6 】

〔販売形態〕

インターネットの普及に伴い、ビジネス消耗品の販売、注文にもインターネットの利用が望まれている。インターネットを利用して商品を販売するシステムは既に存在するが、利用機器に応じたビジネス消耗品を多種多様の商品の中から正しく選択し、注文するのは容易なことではない。また、そのような販売システムで表示される商品の価格は顧客に応じたものではない。

【 0 0 0 7 】

〔在庫管理〕

利用機器に応じたビジネス消耗品を供給し販売する製造者や販売店は、顧客へビジネス消耗品を短期間に供給する必要から、それぞれの倉庫にかなりのビジネス消耗品を在庫している。しかし、ビジネス消耗品の多種多様性、需要予測の困難さから適正在庫になっているとはいえない。このため、顧客から受注したビジネス消耗品の在庫がなく、地理的に離れた他の販売店には過剰にあるという事態が発生する。この場合、過剰在庫をもつ販売店から顧客へビジネス消耗品を供給することはできても、通常の配送地域から外れるなどの問題から、到底、短期間に納品することはできない。従って、ビジネス消耗品の多種多様性および需要予測の困難さを考慮した在庫管理が望まれている。

【 0 0 0 8 】

〔リサイクル〕

トナーカートリッジの回収およびリサイクルを効果的に行うには、何時、どの種類のトナーカートリッジが幾つ戻ってくるかをトナーカートリッジの製造者やリサイクル業者が把握できることが望ましい。言い換えれば、製造者やリサイクル業者は、使用済みカートリッジの回収・リサイクルスケジュールを立て、使用済みカートリッジを効率的かつ低コストで回収しリサイクルすることが可能になる。

【 0 0 0 9 】

しかし、現状は、トナーカートリッジをリサイクルするか否か自体が、トナーカートリッジが使用済みになった時点でユーザによって決定されるだけであり、効果的かつ低コストで回収およびリサイクルを行うには、適切な環境が整っているとは言えない。さらに、現状のトナーカートリッジを回収方法は(1)販売店もしくは製造者が回収用のトラック便などを仕立てる、(2)ユーザが販売店へ持参する、(3)ユーザが回収専用箱に梱包して発送する、などであり何れの方法も手間およびコストがかかる。

【 0 0 1 0 】

このような状況から、本来はリサイクルの重要な役割を担う製造者やリサイクル業者は受動的にリサイクル活動を行うことになり、ユーザや販売店の努力により回収が支えられているのが現実である。さらに、回収の手間やコストを嫌って廃棄される使用済みトナーカートリッジも多いと考えられる。従って、回収の手間やコストを削減可能な回収システムが望まれている。

【 0 0 1 1 】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、上述の課題を個々にまたはまとめて解決するためのものであり、ビジネス消耗品の流通を一元管理することを目的とする。

【 0 0 1 2 】

【課題を解決するための手段】

本発明は、前記の目的を達成する一手段として、以下の構成を備える。

【 0 0 1 3 】

本発明にかかる注文方法は、所定のサーバにログインし、前記サーバから供給される注文画面に従い所望するビジネス消耗品を注文する注文方法であって、前記注文画面には、注文者の利用機器に対応するビジネス消耗品のリストが含まれることを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

好ましくは、前記注文画面には、さらに、リストされたビジネス消耗品および前記注文者に対応した価格情報が含まれることを特徴とする。

【 0 0 1 5 】

本発明にかかる販売方法は、ログインしたユーザに注文画面を供給し、前記注文画面に従い所望するビジネス消耗品を注文させる販売方法であって、前記注文画面には、前記ユーザの利用機器に対応するビジネス消耗品のリストが含まれることを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

好ましくは、前記注文画面には、さらに、リストされたビジネス消耗品および前記ユーザに対応した価格情報が含まれることを特徴とする。

【 0 0 1 7 】

本発明にかかる販売システムは、ビジネス消耗品を注文しようとするユーザをログインさせるログイン手段、ログインしたユーザに注文画面を供給する供給手段、および、前記注文画面に基づく注文情報を受け付ける受付手段を有する販売システムであって、前記供給手段は、ユーザの利用機器に対応するビジネス消耗品のリストを含む注文画面を前記ユーザに供給することを特徴とする。

【 0 0 1 8 】

好ましくは、前記供給手段は、さらに、リストされたビジネス消耗品および前記ユーザに対応した価格情報を含む注文画面を前記ユーザに供給することを特徴とする。

【 0 0 1 9 】

本発明にかかるプログラムは、ビジネス消耗品を注文しようとするユーザをログインさせ、ログインしたユーザに注文画面を供給し、前記注文画面に基づく注文情報を受け付ける販売システムを実現するプログラムであって、ユーザの利用

機器に対応するビジネス消耗品のリストを含む注文画面を前記ユーザに供給するステップを有することを特徴とする。

【0020】

好ましくは、さらに、リストされたビジネス消耗品および前記ユーザに対応した価格情報を含む注文画面を前記ユーザに供給するステップを有することを特徴とする。

【0021】

本発明にかかる媒体は、ビジネス消耗品を注文しようとするユーザをログインさせ、ログインしたユーザに注文画面を供給し、前記注文画面に基づく注文情報を受け付ける販売システムのプログラムコードを有する媒体であって、前記プログラムコードは少なくとも、ユーザの利用機器に対応するビジネス消耗品のリストを含む注文画面を前記ユーザに供給するステップのコードを有することを特徴とする。

【0022】

好ましくは、さらに、リストされたビジネス消耗品および前記ユーザに対応した価格情報を含む注文画面を前記ユーザに供給するステップのコードを有することを特徴とする。

【0023】

また、ビジネス消耗品を注文しようとするユーザをログインさせ、ログインしたユーザに注文画面を供給し、前記注文画面に基づく注文情報を受け付ける販売システム用のデータを有する媒体であって、前記注文画面の生成用として、少なくとも、ユーザおよびその利用機器、機器に対応するビジネス消耗品、並びに、前記ビジネス消耗品および前記ユーザに対応する価格情報を有することを特徴とする。

【0024】

【発明の実施の形態】

以下、本発明にかかるビジネス消耗品の販売回収システムを図面を参照して詳細に説明する。なお、実施形態では電子写真方式のプリンタ、複写機、ファクシミリ装置などの機器に使用されるトナーカートリッジをビジネス消耗品の一例と

して説明するが、他のビジネス消耗品にも本発明を適用することができる。例えば、複写機用のトナー、感光ドラム、その他サービスパーツ、紙やOHPシート、インクジェットプリンタ用のインクなどを挙げることができる。このうち、多くのものは空になった容器等の回収が望まれ、例えば、複写機用のトナーはトナーの容器やパッケージ箱の回収が望まれる。

【0025】

〔トナーカートリッジの流れ〕

図1は現状のトナーカートリッジの流れを説明する図である。

【0026】

図1において、製造者1の工場11で生産計画に合わせて製造されたトナーカートリッジは、随時、製造者の倉庫12へ送られる。そして、注文が販売者3から製造者1へ入ると、販売者3（またはその倉庫）へ納入するのにかなり日数がかかる場合がある。販売者3からユーザ4へは、在庫があれば、遅くとも一日（注文の翌日）で納入可能である。

【0027】

一方、使用済みのトナーカートリッジの回収には確立したルートがなく、前述したように、販売者3を経て、ユーザ4から製造者1へ直送など様々なルートがある。また、回収にかかる手間およびコストの問題から回収されない使用済みのトナーカートリッジも多いと考えられる。

【0028】

図2は本実施形態におけるトナーカートリッジの流れを示す図である。

【0029】

図2において、製造者1の工場11で生産計画に合わせて製造されたトナーカートリッジは、随時、マスタ倉庫5へ送られる。マスタ倉庫5に一旦入荷したトナーカートリッジは、後述する出荷スケジュールに合わせて各地に分散配置されたブランチ倉庫6へ配送される。詳細は後述するが、ユーザ4から注文が入ると、ブランチ倉庫6からユーザ4へトナーカートリッジが納入される。その納入の際、詳細は後述するが、ユーザ4の希望に応じて使用済みのトナーカートリッジが回収され、一旦ブランチ倉庫6へ納入される。ブランチ倉庫6へ納入された使用済みのトナ

ーカートリッジは、その後、所定のタイミングでブランチ倉庫6から回収センタ7へ送られてリサイクルされる。

【0030】

図2に示すマスタ倉庫5は、トナーカートリッジの流れの中心になる主管的な倉庫であり、製造者1、販売者3あるいは物流業者などによって営まれる。ユーザ4との接点になるブランチ倉庫6は物流業者によって営まれるのが好ましい。また、リサイクルの中心である回収センタ7は、製造者1あるいはリサイクル業者などによって営まれる。

【0031】

また、共有データベース(DB)8は、工場11の生産、マスタ倉庫5およびブランチ倉庫6の在庫、ユーザ4の注文、さらに、工場11、マスタ倉庫5、ブランチ倉庫6、ユーザ4および回収センタ7の間の回収を含む物流を一元管理するものである。共有DB8による一元管理を行う目標としては、適切な生産、在庫および物流を実現し、ユーザ4から注文を受けたトナーカートリッジの例えば一日以内の納入を可能にする、並びに、回収されたトナーカートリッジが、適切なタイミングかつ数量で、回収センタ7に納入されるようにする、などである。

【0032】

なお、販売者3は、トナーカートリッジ自体の流れには参加しない場合もあるが、後述する販売回収システムにおけるデータの流れには参加する。

【0033】

さて、図2に示すような、トナーカートリッジの流れを構築しシステム化することによって、ユーザは短期間に確実にトナーカートリッジを入手することができる。従って、多種類のプリンタ、複写機、ファクシミリ装置を利用するオフィスや事業所における、多種類のトナーカートリッジの在庫の維持管理を容易にすることができる。さらに、小規模なオフィスや事業所であれば、例えば、トナーの残量がある閾値を割り、プリンタなどからトナーカートリッジの交換予告が通知された後にトナーカートリッジを発注すれば、在庫管理自体を不要にすることも可能になる。

【0034】

言い換えれば、共有DB8により多種多様なトナーカートリッジの生産、物流、在庫、受注および配送を一元管理することにより、例えば、生産および受注に応じてマスタ倉庫5およびブランチ倉庫6の間でトナーカートリッジの在庫を調整することができる。従って、販売者3などの倉庫にビジネス消耗品を在庫しなくても、ユーザ4へトナーカートリッジを短期間に供給することができ、販売者3の在庫なしや過剰在庫に起因する問題、過剰在庫による金利負担増などを解消することができる。

【 0 0 3 5 】

また、回収センタ7は、共有DB8を介して、何時、どの種類のトナーカートリッジが幾つ戻ってくるかを把握することができるので、使用済みカートリッジの回収・リサイクルスケジュールを立て、使用済みカートリッジを効率的かつ低コストで回収しリサイクルすることが可能になり、積極的なリサイクル活動が展開できる。

【 0 0 3 6 】

さらに、使用済みトナーカートリッジをリサイクルさせるための手間およびコストを最小限に抑えることができるので、使用済みトナーカートリッジが廃棄されるのを防ぎ、回収率を高めることができるなど、環境を考慮した回収システム、リサイクルシステムを構築することができる。

【 0 0 3 7 】

以下では、図2に示すトナーカートリッジの流れを実現する販売回収システムを詳細に説明する。

【 0 0 3 8 】

〔販売回収システム〕

図3はトナーカートリッジの販売回収システムの構成例を示す図である。

【 0 0 3 9 】

メインサーバ81は、共有DB8を提供するサーバ装置である。なお、共有DB8は、一台のサーバ装置によって提供されとは限らず、複数台のサーバ装置に分割されて、あるいは、並列に提供されることもある。つまり、共有DB8は、論理的に一つのデータベースとして提供されればよい。

【 0 0 4 0 】

メインサーバ81には、インターネットなどのワイドエリアネットワーク(WAN)100を介して、共有DB8を利用する複数の端末装置が接続される。端末装置13、31、41、51、61および71はそれぞれ製造者1、販売者3、ユーザ4、マスタ倉庫5、ブランチ倉庫6および回収センタ7の端末である。また、端末装置32は販売者3のセールスマンやサービスマンが使用するモバイル端末、端末装置62は物流業者の配送係が使用するモバイル端末である。

【 0 0 4 1 】

[共有データベース]

共有DB8には、下に一例を示すようなデータベースおよびそのフィールド情報が格納されている。これらの情報は、図3に示す各端末装置へ提供されるとともに、それら端末装置により更新される。なお、下に示すデータベースおよびそのフィールドは、販売回収システムの対象とするユーザやビジネス消耗品の特性などに応じて、追加または削除される場合がある。

【 0 0 4 2 】

販売者情報データベース

販売者IDおよびパスワード

名称、住所、電話番号およびファクシミリ番号

電子メールアドレス

顧客担当者情報

販売実績情報

回収実績情報

在庫情報

倉庫情報データベース

マスタ倉庫情報

ブランチ倉庫情報

マスタ-ブランチ間連結情報

倉庫別在庫情報

マスタ倉庫情報やブランチ倉庫情報には、それら倉庫の所在地などが含まれる

。また、マスター-ランチ間連結情報には、マスタ倉庫5からランチ倉庫6へ物品を配送するのに必要な時間、および、ランチ倉庫6相互間で物品を配送するのに必要な時間を示す情報などが含まれる。さらに、倉庫別在庫情報には、各倉庫の適正在庫量を示す情報などが含まれる。

【 0 0 4 3 】

メインサーバ81は、これらの情報に基づき、マスタ倉庫5からランチ倉庫6への在庫移動、および、複数のランチ倉庫6に対する配送の振り分けを制御することができる。また、ユーザ4から受注したトナーカートリッジが最寄りのランチ倉庫6にない場合、ユーザ4の希望納期で、または、最短で納品できるように倉庫間の在庫移動を制御することができる。

【 0 0 4 4 】

●製品情報データベース

製品名および型番

関連消耗品

製品別在庫情報

価格情報

●顧客情報データベース

ユーザIDおよびパスワード

名称、住所、電話番号およびファクシミリ番号

電子メールアドレス

担当販売者、セールスマンおよびサービスマン

最寄りのランチ倉庫#1

最寄りのランチ倉庫#2

購入製品名（型番）および数

発注履歴

回収フラグ

回収履歴

支払履歴

価格情報

出荷情報データベース

出荷先顧客情報

ステータス

注文番号

注文日時

注文アイテム

納期

価格

支払方法

出荷日時

着荷日時

検収日時

●回収情報データベース

回収元顧客情報

回収番号

回収日時

回収アイテム

回収センタ納入予定日

納入日時

●製造者、販売者情報、物流業者情報

製造者IDおよびパスワード

販売者IDおよびパスワード

セールスマンIDおよびパスワード

サービスマンIDおよびパスワード

倉庫IDおよびパスワード

配送係IDおよびパスワード

【0045】

[発注シーケンスおよび画面]

図4はトナーカートリッジの発注シーケンスの一例を示す図、図5から図9はト

ナーカートリッジの発注時にユーザ4の端末装置41に表示される画面の一例を示す図である。

【 0 0 4 6 】

まず、ユーザ4は、端末装置41を介してメインサーバ81にアクセスする。つまり、ユーザ4は、端末装置41で稼動するWebブラウザなどのソフトウェアによりメインサーバ81のURL(Uniform Resource Locator)を指定する。これに応じてメインサーバ81から、ログイン画面に対応するHTML(Hyper Text Markup Language)で記述されたデータ（以下「HTMLデータ」と呼ぶ）が端末装置41に供給され、端末装置41のモニタに図5に示すログイン画面が表示される。

【 0 0 4 7 】

ユーザ4は、図4に示すステップS1で、お客様番号に対応するユーザIDを入力し、パスワードを入力した後、[OK]ボタンを押して、ユーザIDおよびパスワードをメインサーバ81に通知する。なお、ユーザIDおよびパスワードは、プリンタなどのユーザ（オフィスや事業所）単位に、予め販売者3によって通知されているものとする。

【 0 0 4 8 】

ユーザIDおよびパスワードを通知されたメインサーバ81は、ステップS2で、顧客情報データベースを参照して、通知されたユーザIDおよびパスワードに対応するユーザが存在するか否かを判定する。そして、対応するユーザが存在すればユーザ承認を経て、注文画面に対応するHTMLデータを生成し端末装置41に供給する。これにより、端末装置41のモニタには図6に示す注文画面が表示される。

【 0 0 4 9 】

図6に示す注文画面は、主に、ユーザが利用している機器に対応するトナーカートリッジのリスト101、決済方法の選択部102、納期の指定部103および使用済みトナーカートリッジの回収への参加申し込み部104から構成される。なお、納期の指定部103は、下記の[]で括った部分がプルダウンし、休日や祭日を除く営業日が指定できるプルダウンメニュー形式が望ましい。その場合、対応メッセージは「ご希望の納期をプルダウンメニューによって指定し、午前/午後の配達時間帯を指定してください」のようになる。

(例) 納期 [2000] 年 [2] 月 [14] 日 午前 ○午後

【 0 0 5 0 】

リスト101には、トナーカートリッジの型番および対応する機器の型番、並びに、価格が表示され、トナーカートリッジの型番ごとに注文数を入力するための入力枠が備わっている。なお、図6には、二種類のトナーカートリッジしか示さないが、実際には、ユーザが利用しているプリンタ、複写機、ファクシミリ装置などの機種すべてに対応するトナーカートリッジの型番がリストされる。

【 0 0 5 1 】

ユーザが利用している機器の情報は、顧客情報データベースの購入製品名フィールドから得られる。この情報に対応する製品名または型番を有するレコードを製品情報データベースから検索し、そのレコードの関連消耗品フィールドからトナーカートリッジの型番を導き出すことができる。

【 0 0 5 2 】

また、参加申し込み部104は、使用済みトナーカートリッジの回収サービスに参加するか否かをユーザに表明してもらうための部分である。ユーザが、回収サービスへの参加を希望し、参加することを表明した場合、前述したトナーカートリッジの納入時に使用済みのトナーカートリッジが回収される。

【 0 0 5 3 】

さらに、前述したとおり ユーザが回収サービスへの参加を表明した場合、出荷用と回収用が一組になった伝票（出荷/回収伝票）が発行され、この伝票が、トナーカートリッジ梱包用の箱などに添付され、ユーザへ納入される。ユーザは、伝票の添付された箱を保管し、回収時にこの箱に使用済みトナーカートリッジを入れて回収する。このような出荷/回収伝票を利用することで、回収時にユーザが新たに伝票を発行する、配送係がデータを入力するなどの手間を省くことができる。また、出荷と回収を同じ伝票番号などで管理することができ、ユーザごとの回収率の管理などを容易にすることができる。

【 0 0 5 4 】

発注画面の所定項目が入力された後、[送信する] ボタンが押されるとステップ S3で、リスト101に対応する注文アイテムおよび注文数のデータ、選択部102に対

応する決済方法のデータ、指定部103に対応する希望納期のデータ、並びに、参加申し込み部104に対応する回収フラグがメインサーバ81へ送られる。

【 0 0 5 5 】

次に、メインサーバ81は、受信したデータおよびフラグに従い、ステップS4で注文確認画面に対応するHTMLデータを生成し端末装置41に供給する。これにより、端末装置41のモニタには図7に示す注文確認画面が表示される。図7にはユーザ4が回収サービスへの参加を表明した場合を示すが、不参加の場合は対応メッセージが「使用済みトナーカートリッジの回収に参加しない」などに変更される。

【 0 0 5 6 】

ユーザ4は、ステップS5で、注文確認画面を参照して、注文内容および回収サービスへの参加/不参加などが正しければ [OK] ボタンを押す。また、誤りや訂正したい内容があれば [Cancel] ボタンを押す。[Cancel] ボタンが押された場合は、端末装置41のモニタに、再び注文画面が表示される。

【 0 0 5 7 】

メインサーバ81は、注文確認を受信すると、新規受注を示す情報を生成する。この情報には、注文番号、ユーザID、回収フラグ、発注履歴、回収履歴、担当の販売者ID、注文日時、注文アイテム、注文数、希望納期、価格および支払方法などのデータが含まれる。

【 0 0 5 8 】

続いて、メインサーバ81は、顧客情報データベースおよび倉庫情報データベースを用いて納期を調べる。具体的には、ユーザIDに対応する最寄りブランチ倉庫#1および#2フィールドを調べ、倉庫別在庫情報フィールドからそれらのブランチ倉庫6に注文数分の注文アイテムが在庫されているか否かを調べ、その結果から納期を設定する。通常、最寄りブランチ倉庫#1および#2フィールドに登録されたブランチ倉庫6に在庫があれば翌日には納入可能である。もし、それらのブランチ倉庫6に在庫がなければ、メインサーバ81は、倉庫情報データベースを利用して納期を割り出し、納期を設定する。

【 0 0 5 9 】

次に、メインサーバ81は、ステップS7で上記の受注情報に価格確認要求を含め

て、ユーザ4を担当する販売者3へ送る。これは、ユーザへの納入価格は販売者3によって設定され、ユーザとの取引状況によって納入価格が変動するので、それを確認する必要があるからである。この価格確認要求は、販売者3の端末装置31上で稼働するソフトウェアによりただ直ちに処理され、ステップS8で価格確認または発注取消などの情報がメインサーバ81に返される。または、この価格確認要求は、ユーザの担当セールスマンの携帯端末32に送信され、ステップS8で、価格確認または発注取消などの情報がセールスマンによって携帯端末32を通してメインサーバ81に送信される。

【 0 0 6 0 】

メインサーバ81は、価格確認を受信した場合は直ちに、ステップS9で受注情報に発注承認要求を含めて製造者1へ送る。この発注承認要求は、製造者1の端末装置13上で稼働するソフトウェアにより直ちに承認処理されるか、または、端末装置13を管理するオペレータにより直ちに承認処理され、ステップS10では通常は発注承認が、メインサーバ81に返される。また、価格に誤りがあり、発注取消を示す情報を受信した場合は、対応する受注情報に対して、ステータスを例えば「取消」という形式に変更する。

【 0 0 6 1 】

続いてメインサーバ81は、ステップS11で、発注承認を受信した場合は、発注確認を示す電子メールを生成し、その電子メールをユーザ4および販売者3に送信する。この電子メールには、注文番号、ユーザ名称、注文日時、注文アイテム、納入数、納期、価格および販売者3の情報(名称、住所、電話番号およびファクシミリ番号)などの情報が含まれる。

【 0 0 6 2 】

また、受注情報におけるステータスが発注取消を示すステータスである場合は、発注取消確認を示す電子メールを生成し、その電子メールをユーザ4および販売者3に送信する。この電子メールには、発注取消理由、注文番号、ユーザ名称、注文日時、注文アイテム、納入数、納期、価格および販売者3の情報(名称、住所、電話番号およびファクシミリ番号)などの情報が含まれる。

【 0 0 6 3 】

以上でトナーカートリッジの発注シーケンスは終了する。ただし、図4には示さないが、ステップS5でユーザ4が注文確認を送った後、ユーザ4の端末装置41のモニタには図8に示すような注文の継続、注文内容の再確認あるいは注文の終了（ログアウト）を選択するための画面が表示される。ユーザ4が[logout]ボタンを押せば、メインサーバ81と端末装置41との接続が解除される。

【0064】

また、ステップS1のログイン時にユーザ4が既に回収サービスに参加している場合、メインサーバ81は、ステップS2で図9に示すような注文画面を端末装置41へ供給する。つまり、図6に示す注文画面の下部は使用済みトナーカートリッジの回収への参加申し込みを行うため参加申し込み部104であるが、図9に示す注文画面の下部は回収協力に対する礼、および、回収状況を示す表示部105である。ユーザ4は、この表示部105によって現在の回収数/回収率/ポイントなどを知ることができる。

【0065】

このように、ユーザ4は、多種多様のトナーカートリッジの中から利用機器に対応するトナーカートリッジを選択する必要はなく、利用機器に応じたトナーカートリッジを容易に注文することができる。従って、誤った注文を行う可能性が激減され、誤って注文したトナーカートリッジを返品するなどの手間も削減される。さらに、注文画面にはユーザ4に応じた価格が表示されるから、ユーザ4は、トナーカートリッジの購入に必要な費用を直ちに知ることができる。

【0066】

また、販売者3などからみれば、ユーザ4に応じた価格を提示することができるので、インターネット100を利用したトナーカートリッジの販売を促進して、業務の効率化を図ることが可能になる。さらに、誤った注文による返品を処理する手間も省ける、などの効果がある。

【0067】

〔メインサーバの処理〕

次に、メインサーバ81が実行する代表的な処理を説明する。

【0068】

受注処理

図10は受注処理の一例を示すフローチャートで、図4に示す発注シーケンスに対応するものである。

【 0 0 6 9 】

ユーザ4からユーザIDおよびパスワードが送られてくると、顧客情報データベースに基づき、ステップS21で登録ユーザか否かの判定が、ステップS22でパスワードの認証が行われる。登録ユーザであり、パスワードの認証にも成功した場合は、顧客情報データベースに基づき、ステップS23でユーザ4に関する不正情報があるか否かが判定され、なければステップS24で注文画面のHTMLデータを生成する。具体的には、ユーザIDに応じて図6および図9に示すリスト101および選択部102が生成され、さらに、図6に示す参加申し込み部104を表示させるか、図9に示す表示部105を表示するかが決定される。このようにして生成された注文画面のHTMLデータは、ステップS25でユーザ4へ送信される。

【 0 0 7 0 】

なお、登録ユーザではない、パスワードの認証に失敗した、並びに、ユーザ4に関する不正情報がある場合、処理は終了される。

【 0 0 7 1 】

続いて、ステップS26で注文データが受信されると、ステップS27で注文データに異常なデータが含まれるか否かが判定され、異常なデータが含まれれば処理はステップS25へ戻される。また、異常なデータが含まれなければステップS28で、注文データに基づき図7に示す注文確認画面のHTMLデータが生成され、ステップS29でユーザ4へ送信される。

【 0 0 7 2 】

続いて、ステップS30で注文確認を示すデータが受信されたか否かを判定し、もし、キャンセルを示すデータが受信された場合、処理はステップS25へ戻される。また、注文確認を示すデータが受信された場合はステップS31で、顧客情報データベース（具体的には発注履歴や回収フラグなど）が更新され、ステップS32で前述した受注情報が生成される。

【 0 0 7 3 】

出荷処理

図11は受注情報に基づく出荷処理の一例を示すフローチャートである。

【0074】

ステップS41で一つの受注情報が読み込まれる。そして、受注情報に記録されたユーザID、注文アイテムおよび注文数に基づき、ステップS42からS46で在庫確認が行われる。つまり、最寄りのブランチ倉庫#1、最寄りのブランチ倉庫#2、マスタ倉庫5、ユーザIDに対応する販売者（担当販売者）3、製造者1の順に各ノードの在庫を確認して、最もユーザ4よりのノードに対して出庫手続が行われる。

【0075】

例えば、他のノードには在庫がなく、製造者1に在庫があった場合はステップS47からS50において、製造者1、マスタ倉庫5、ブランチ倉庫6の順に出庫手続が行われる。これらの出庫処理は、トナーカートリッジの流れに同期して行われるものであることは言うまでもない。

【0076】

そして、ステップS50で、物流業者の配送係のモバイル端末62から入力される情報に基づき、受注情報に対応する納品が行われたか否かが判定され、納入が行われた場合はステップS51で納品手続が行われ、受注情報の更新（納品済フラグをオンにするなど）が行われる。

【0077】

また、ブランチ倉庫6およびマスタ倉庫5に在庫がなく、販売者3に在庫があった場合は、ステップS52で販売者3に納品を依頼する。この依頼に応じて販売者3は例えばサービスマンに納品を行わせる。この場合、ステップS50では、サービスマンのモバイル端末32から入力される情報に基づき、受注情報に対応する納品が行われたか否かが判定される。

【0078】

また、製造者1にも在庫がない場合は、ステップS53でバックオーダー手続および受注情報の更新が行われる。

【0079】

回収処理

図12は受注情報に基づく回収処理の一例を示すフローチャートである。

【0080】

トナーカートリッジを納品する配送係は、受注情報の回収フラグを参照して、回収フラグがオンに設定されていれば納品と同時に使用済みトナーカートリッジの回収を行う。そして、配送係はモバイル端末62を利用してメインサーバ81へアクセスし(S61およびS62)、受注情報に対応する納品情報および回収情報を送信する(S63)。なお、回収情報には、回収日、受注情報に対応付けされた回収されたトナーカートリッジの型番や数などの情報が含まれる。

【0081】

ホストサーバ81は、回収情報を受信すると、ステップS64で受注情報のユーザIDに対応する回収履歴を更新する。その後、ステップS65でブランチ倉庫6の端末61から回収カートリッジの入庫情報が通知されると、ステップS66で回収情報を更新し、ステップS67でブランチ倉庫6の端末61から回収カートリッジの出庫情報が通知されると、ステップS68で回収情報を更新する。そして、ステップS69で回収センタ7の端末71から回収カートリッジの到着情報が通知されると、ステップS70で回収情報の更新（回収完了フラグをオンにするなど）が行われる。

【0082】

〔ビジネス消耗品の具体例〕

図13は本実施形態のビジネス消耗品を搭載するレーザービームプリンタ(LBP)の構成例を示す概観図である。

【0083】

図13において、イメージスキャナ2201は、原稿画像を読み取り、原稿画像に対してデジタル画像処理を行う。また、プリンタ2202は、イメージスキャナ2201で読み取られた原稿画像に対応した画像を記録紙上に形成し出力する。

【0084】

イメージスキャナ2201において、2200は原稿圧板、2203は原稿台硝子（プラテン硝子）で、原稿2204はその記録面を図の下方へ向けて載置され、原稿圧板2200によって固定される。蛍光灯ランプ2205から出力される光は、原稿2204に反射さ

れ、ミラー2206、2207および2208に導かれて、レンズ2209によりリニアCCDイメージセンサ（以下「CCD」と呼ぶ）2210上に結像する。なお、レンズ2209には赤外カットフィルタが設けられている。CCD2210は、原稿2204の反射光を赤(R)、緑(G)および青(B)の各色に分解して読み取り、得られたアナログ画像信号を画像処理部2211へ送る。ここで、蛍光灯2205およびミラー2206を有するユニットは速度Vで、ミラー2207および2208を有するユニットは速度V/2で、CCD2210に直交する副走査方向に機械的に移動されることにより、原稿2204の全体が読み取られる。

【 0 0 8 5 】

CCD2210は、例えば、RGB各色約7500画素の受光画素が3ライン（1210-1から1210-3）に並べられたもので、A3サイズ of 原稿の短手方向297mmを600dpiの解像度で読み取ることが可能である。もし、A3サイズ of 原稿の短手方向297mmを400dpiの解像度で読み取るには、RGB各色約5000画素の一次元イメージセンサがあればよい。

【 0 0 8 6 】

画像処理部2211は、CCD2210から出力されるアナログ画像信号をデジタル画像信号に変換し、印刷用のトナー色に対応するイエロー(Y)、マゼンタ(M)、シアン(C)およびブラック(BK)の各色成分画像を形成してプリンタ2202へ送る。また、イメージスキャナ2201における一回の原稿スキャン（一回の副走査）につきYMCBKのうち一つの色成分画像がプリンタ2202に送られる。従って、四回の原稿スキャンにより四色成分の画像信号を順次プリンタ2202に送出されて一枚のプリントが完了する。なお、画像処理部2211内に必要十分なメモリがあれば、一回の原稿スキャンで得られる画像信号をそのメモリに格納して、残る三回の原稿スキャンを不要にすることもできる。

【 0 0 8 7 】

このようにして画像処理部2211より順次送出されるYMCBK色成分の画像信号は、プリンタ2202内のレーザドライバ2212へ入力される。レーザドライバ2212は、入力される画像信号に応じてレーザダイオード2213を発光させる。レーザダイオード2213から出力されるレーザ光は、ポリゴンミラー2214、f-θ レンズ2215およびミラー2216を介して感光ドラム2217上を走査し、感光ドラム2217上に静電潜像

を形成する。

【 0 0 8 8 】

レーザ光により形成された感光ドラム上の静電潜像は、イエロー、マゼンタ、シアンおよびブラックのトナーを有する現像器2219から2222により現像される。つまり、四個の現像器2219から2222が順次感光ドラム2217に当接し、色トナーによる現像が行われる。

【 0 0 8 9 】

記録紙カセット2224または2225より供給される記録紙は、静電気的作用により、転写ドラム2223へ巻き付けられ、感光ドラム2217上のトナー像が転写される。四色のトナーを使用する記録処理においては、転写ドラム2223が四回転することで各色のトナーが記録紙へ重畳転写される。その後、記録紙は、転写ドラム2223から剥離され、定着ユニット226でトナー像が定着され、装置外部へ排出される。

【 0 0 9 0 】

このようなLBPにおいて、感光ドラム2217、現像器2219から2222の中に収容されるトナーまたはトナーカートリッジ、並びに、記録紙カセット2224および2225に収容される記録紙はビジネス消耗品である。

【 0 0 9 1 】

図14は本実施形態のビジネス消耗品を搭載するインクジェットプリンタ(IJRA)の構成例を示す概観図である。

【 0 0 9 2 】

図14において、駆動モータ5013の正逆回転に連動し、駆動力伝達ギア5011および5009を介して回転するリードスクリュー5004の螺旋溝5005に係合するキャリッジHCは、ピン（不図示）を有し、矢印aおよびb方向に往復移動される。このキャリッジHCには、インクジェットカートリッジIJCが搭載されている。

【 0 0 9 3 】

5002は紙押え板で、キャリッジHCの移動方向に互って、記録紙Pをプラテン5000に対して押圧する。5007および5008はフォトセンサで、モータ5013の回転方向を切換えるために、センサが配置された領域にキャリッジHCのレバー5006が存在

するか否かを確認するホームポジション検知手段である。5016は記録ヘッドIJHの前面をキャップするキャップ部材5022を支持する部材、5015はこのキャップ内を吸引する吸引手段で、キャップ内開口5023を介して、記録ヘッドIJHの吸引回復を行う。

【0094】

5017はクリーニングブレード、5019はこのブレードを前後方向に移動可能にする部材であり、本体支持板5018にこれらが支持されている。クリーニングブレードはこの形態に限らず、周知のクリーニングブレードが本実施形態に適用できることは言うまでもない。また、5021は吸引回復の吸引を開始するためのレバーで、キャリッジHCと係合するカム5020の移動に伴って移動し、駆動モータ5013からの駆動力がクラッチ切換えなどの公知の伝達手段で移動制御される。

【0095】

これらのキャッピング、クリーニングおよび吸引回復は、キャリッジHCがホームポジション側の領域にきたときに、リードスクリュウ5004の作用により、それらの対応位置で所望の処理が行えるように構成されているが、周知のタイミングで所望の作動を行うようにすればよい。

【0096】

このようなIJRAにおいて、インクジェットカートリッジIJCまたはその中に搭載されるインクがビジネス消耗品である。

【0097】

【他の実施形態】

本発明の目的は、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記憶媒体（または記録媒体）を、システムあるいは装置に供給し、そのシステムあるいは装置のコンピュータ（またはCPUやMPU）が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読み出し実行することによっても、達成されることは言うまでもない。この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現することになり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することになる。また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現さ

れるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているオペレーティングシステム（OS）などが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることとはいうまでもない。

【0098】

さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張カードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張カードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることはいうまでもない。

【0099】

本発明を上記記憶媒体に適用する場合、その記憶媒体には、先に説明した図4に示すシーケンス、および/または、図10から図12に示すフローチャートに対応するプログラムコード、並びに/あるいは、図5から図9に示す画面のデータを作成するプログラムコードが格納されることになる。

【0100】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、利用機器に応じたビジネス消耗品の注文を容易にすることができる。また、注文者に応じた商品価格を提示することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

現状のトナーカートリッジの流れを説明する図、

【図2】

本実施形態におけるトナーカートリッジの流れを示す図、

【図3】

トナーカートリッジの販売回収システムの構成例を示す図、

【図4】

トナーカートリッジの発注シーケンスの一例を示す図、

【図 5】

トナーカートリッジの発注時にユーザの端末装置に表示される画面の一例を示す図、

【図 6】

トナーカートリッジの発注時にユーザの端末装置に表示される画面の一例を示す図、

【図 7】

トナーカートリッジの発注時にユーザの端末装置に表示される画面の一例を示す図、

【図 8】

トナーカートリッジの発注時にユーザの端末装置に表示される画面の一例を示す図、

【図 9】

トナーカートリッジの発注時にユーザの端末装置に表示される画面の一例を示す図、

【図 1 0】

受注処理の一例を示すフローチャート

【図 1 1】

受注情報に基づく出荷処理の一例を示すフローチャート、

【図 1 2】

受注情報に基づく回収処理の一例を示すフローチャート、

【図 1 3】

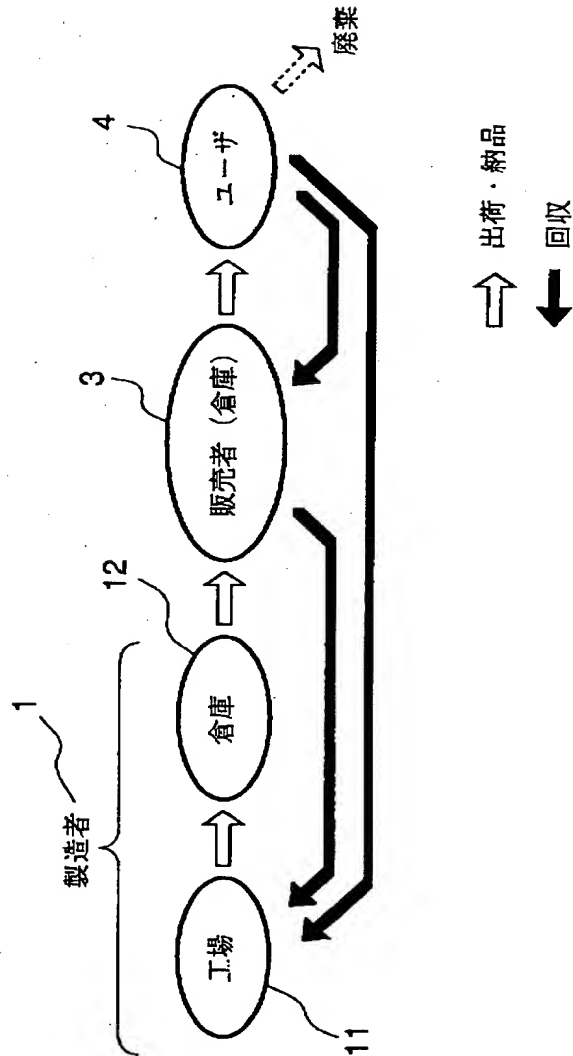
レーザビームプリンタの構成例を示す概観図、

【図 1 4】

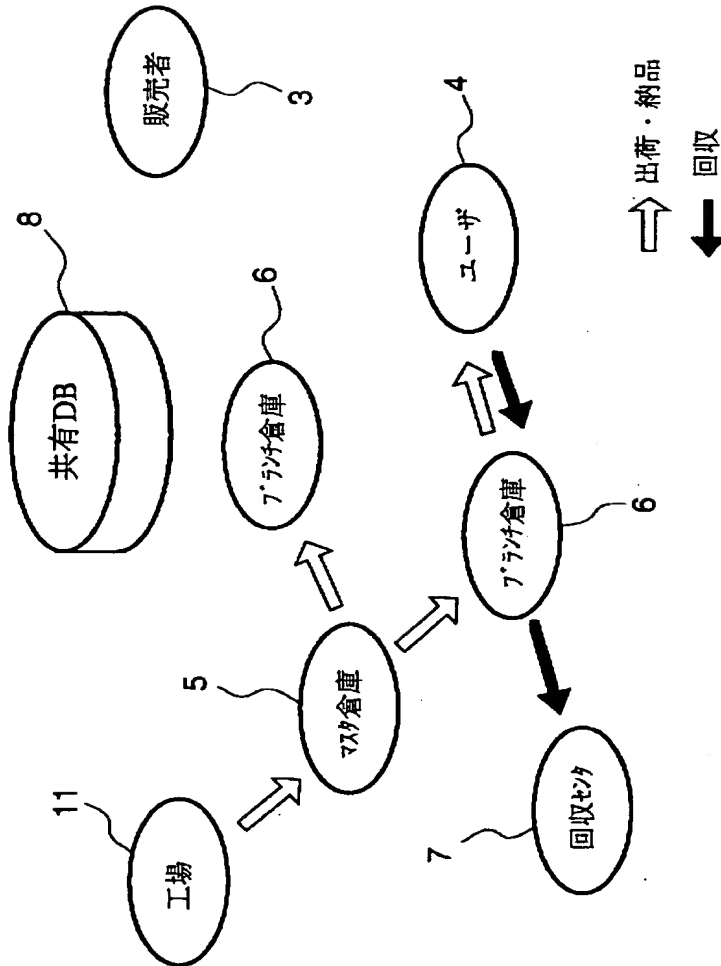
インクジェットプリンタの構成例を示す概観図である。

【書類名】 図面

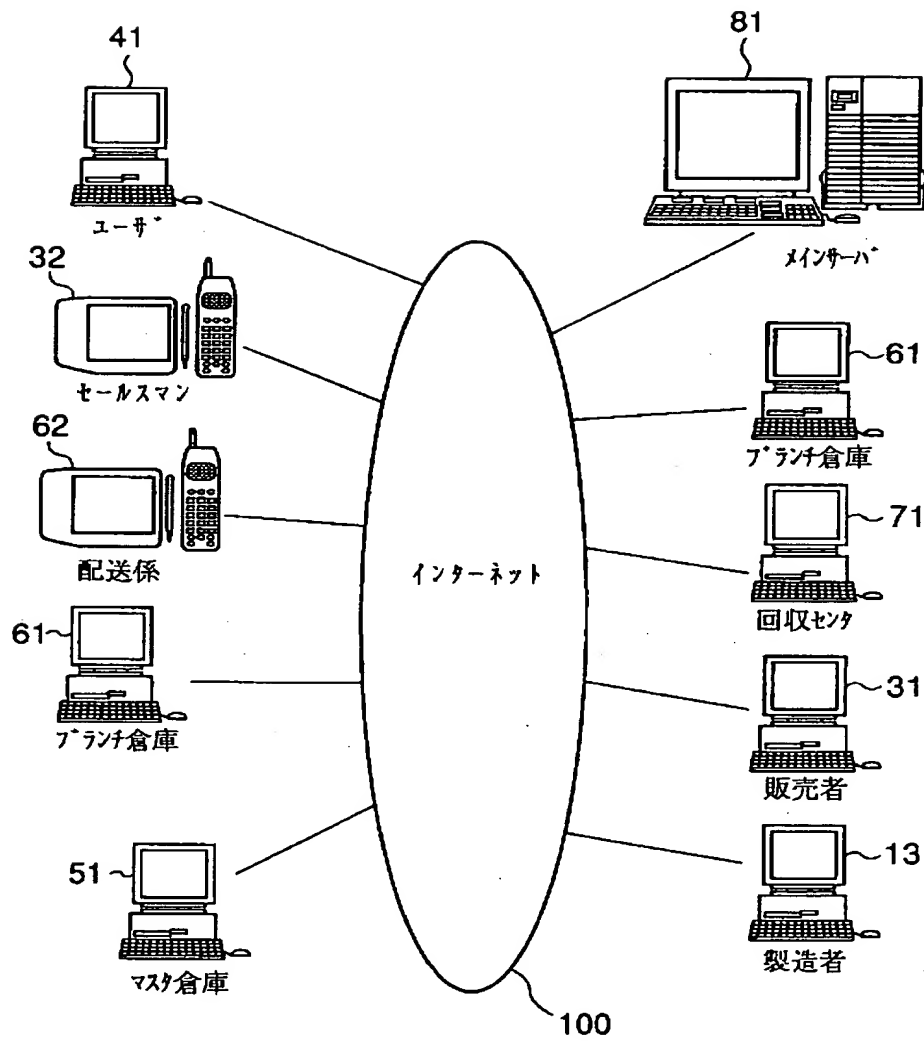
【図 1】



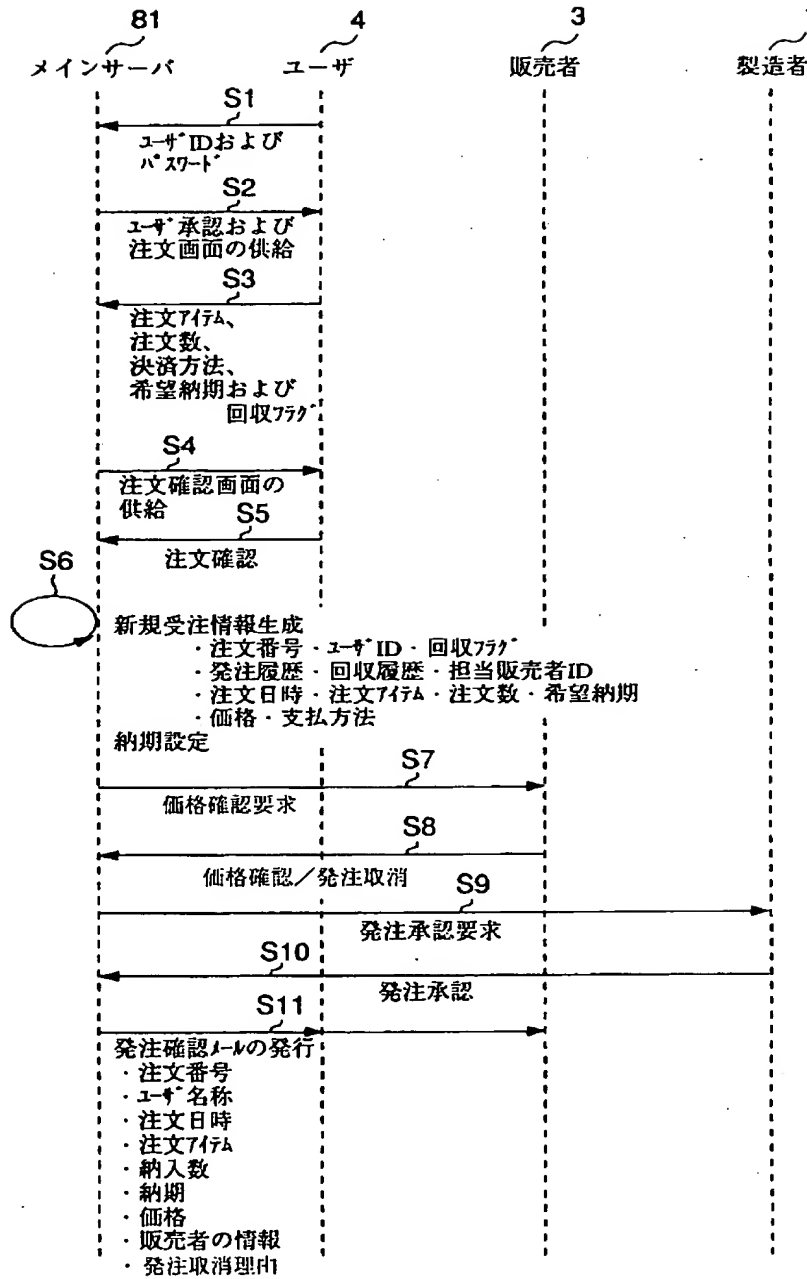
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図5】

トナーカートリッジ
オーダウェブサイト

お客様番号とパスワードを入力してください

お客様番号

パスワード

OK Cancel

【図6】

**トナーカートリッジ
オーダーウェブサイト**

○×△カンパニー様ですね
お客様の担当ディーラーは○●商会です

お客様がご利用の機器に必要なトナーカートリッジは
次の商品です。ご注文数を入力してください

101	型番	価格	ご注文数
	A CRG (LBP A用)	¥20,000	<input type="text"/>
	B CRG (FAX B用)	¥30,000	<input type="text"/>

102 { 決済方法を選択してください
 ◎前回と同じ (☐ 銀行から自動引き落とし)
☐ 銀行振込
☐ 請求書決済
☐ その他

103 { ご希望の納期をyyy.mm.dd形式で指定し、
 午前/午後を指定してください
 納期 ◎午前 ○午後

104 { 使用済みトナーカートリッジの回収にご協力ください
 回収数/回収率に応じたポイントをさしあげます
 詳しくはこちらをご覧ください
 回収に参加する ◎YES ○NO

【図 7】

トナーカートリッジ
オーダーウェブサイト

注文番号は123-4567です

型番	価格	ご注文数
A CRG (LBP A用)	¥20,000	3
B CRG (FAX B用)	¥30,000	2

合計金額は¥120,000です

決済方法は☐銀行から自動引き落としです
ご希望納期は2000年2月14日の午後です
使用済みトナーカートリッジの回収に参加する

ご注文内容はこれでOKですか？

OK
Cancel

【図 8】

トナーカートリッジ
オーダーウェブサイト

ご注文ありがとうございました

引き続き注文を行われる場合は [継続] ボタンを
ご注文内容を確認する場合は [確認] ボタンを
注文を終了する場合は [logout] ボタンを押してください

継続
確認
logout

【図9】

**トナーカートリッジ
オーダーウェブサイト**

○×△カンパニー様ですね
お客様の担当ディーラーは○●商会です

お客様がご利用の機器に必要なトナーカートリッジは
次の商品です。ご注文数を入力してください

型番	価格	ご注文数
A CRG (LBP A用)	¥20,000	<input type="text"/>
B CRG (FAX B用)	¥30,000	<input type="text"/>

決済方法を選択してください
☒ 前回と同じ (☐ 銀行から自動引き落とし)
☐ 銀行振込
☐ 請求書決済
☐ その他

ご希望の納期をyyy.mm.dd形式で指定し、
午前/午後を指定してください
 納期 ☒ 午前 ☐ 午後

使用済みトナーカートリッジの回収に
ご協力いただき、誠にありがとうございます

○×△カンパニー様の回収数/回収率/ポイントは
200本/70%/200ポイントです

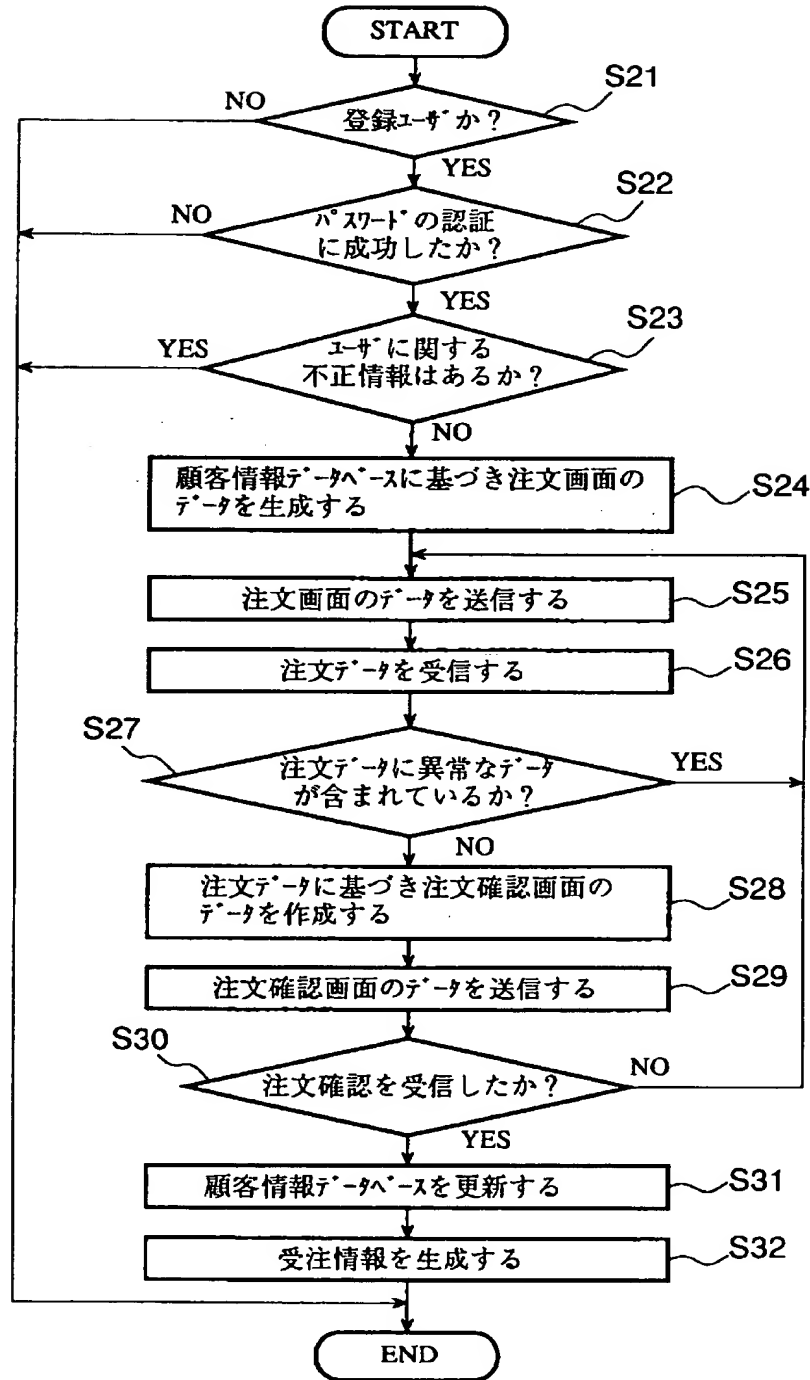
101

102

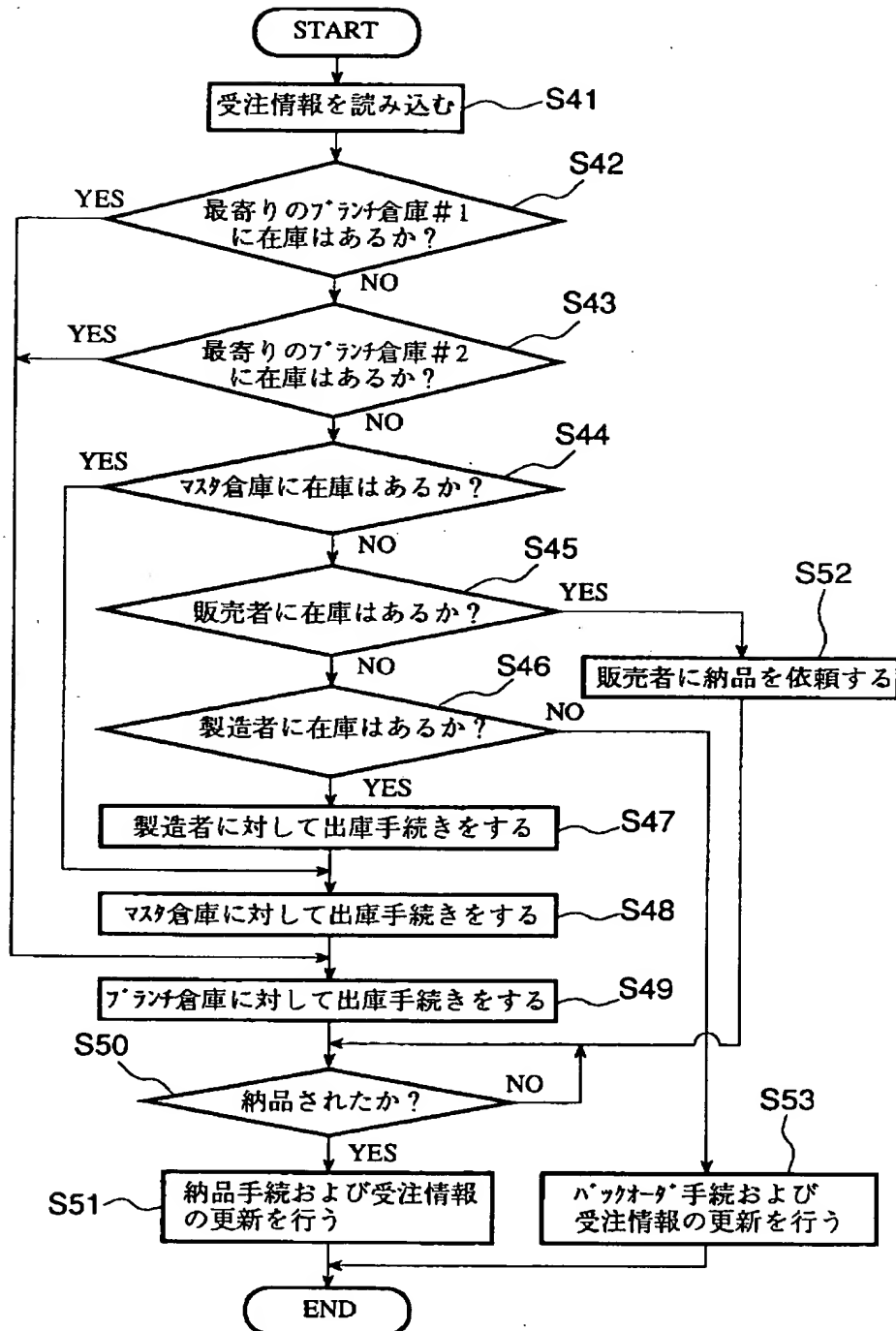
103

105

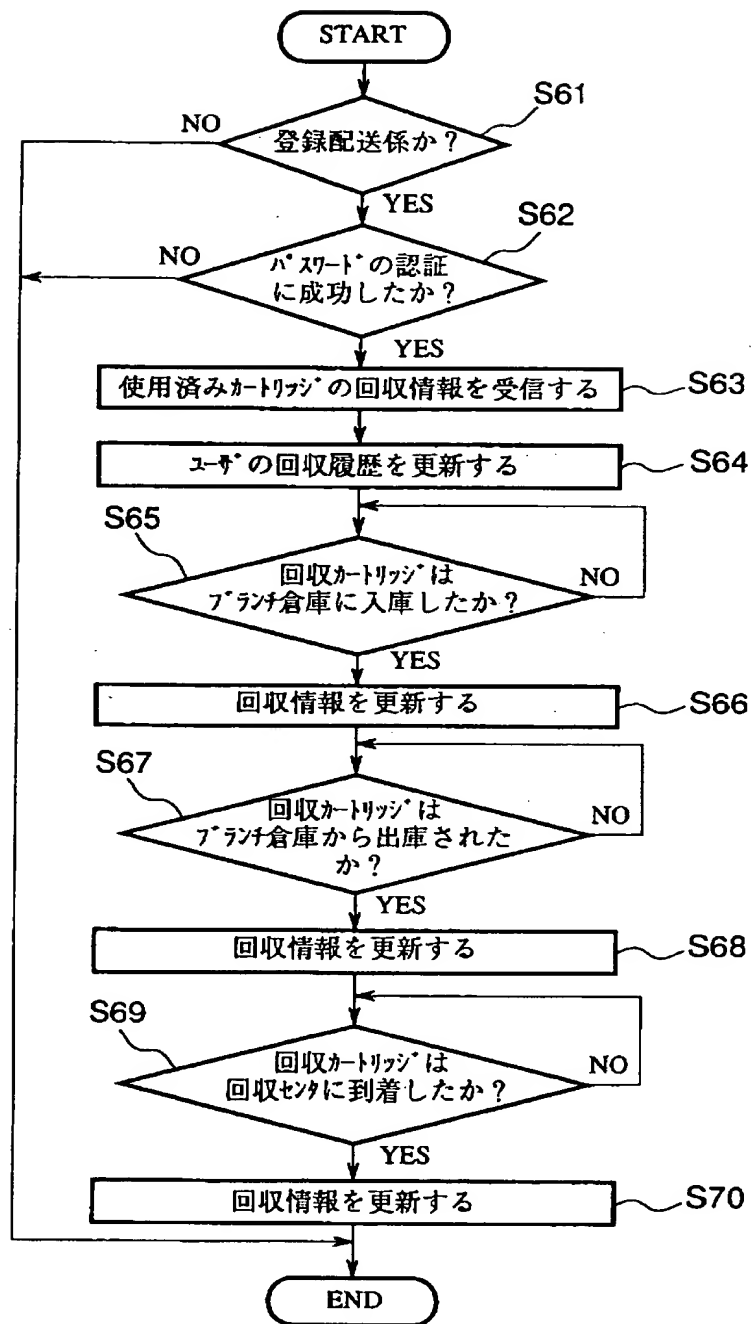
【図10】



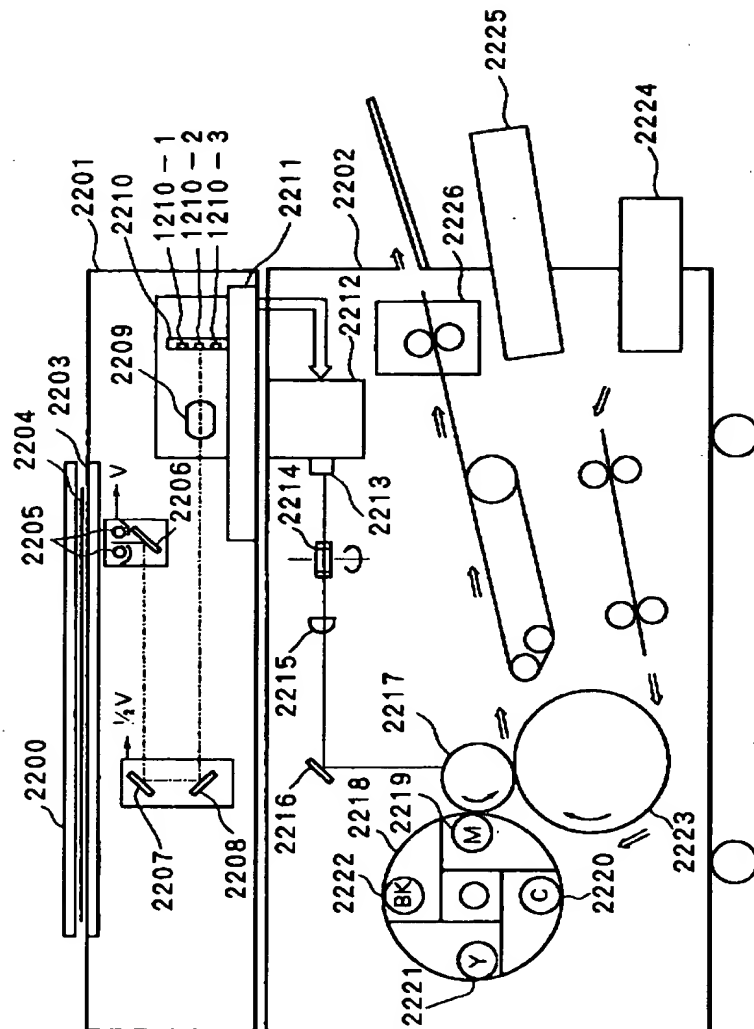
【図 11】



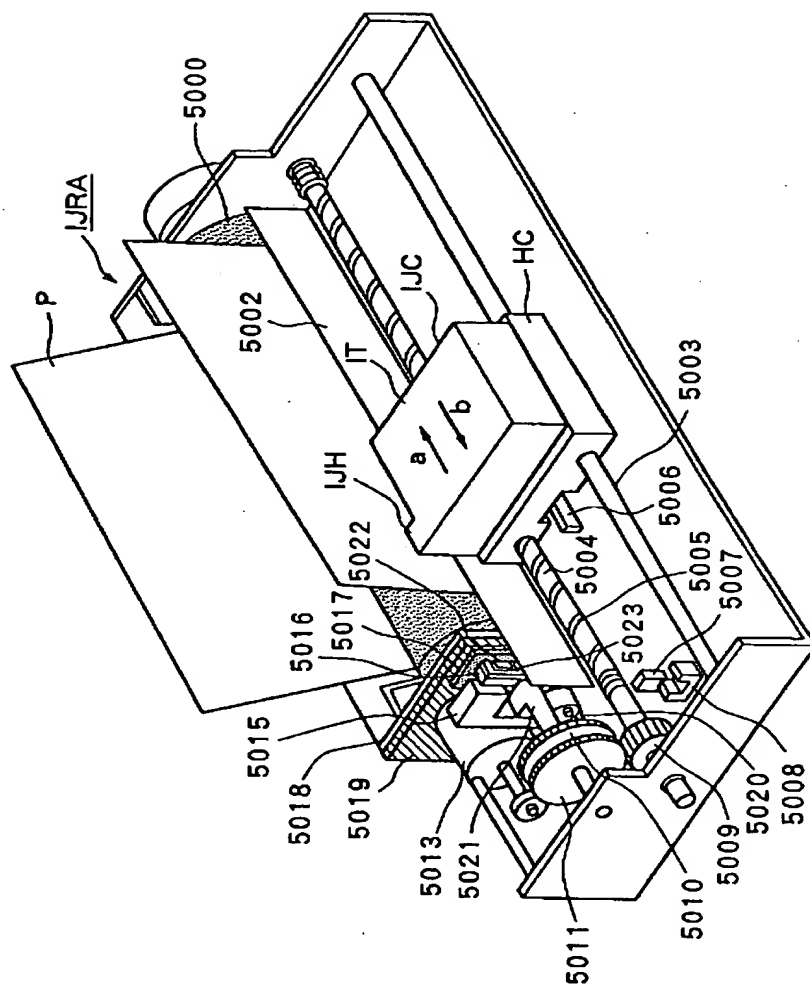
【図12】



【図 13】



【図 14】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 トナーカートリッジを回収方法は、販売店もしくは製造者が回収用のトラック便などを仕立てる、ユーザが販売店へ持参する、ユーザが回収専用箱に梱包して発送するなどで、何れの方法も手間およびコストがかかる。

【解決手段】 ユーザ4から注文が入ると、ブランチ倉庫6からユーザ4へトナーカートリッジが納入される。その納入の際、ユーザ4の希望に応じて使用済みのトナーカートリッジが回収され、一旦ブランチ倉庫6へ納入される。ブランチ倉庫6へ納入された使用済みのトナーカートリッジは、その後、所定のタイミングでブランチ倉庫6から回収センタ7へ送られてリサイクルされる。

【選択図】 図2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001007]

1. 変更年月日 1990年 8月30日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
氏 名 キヤノン株式会社